## 平成30年度 第2回上越市自殺予防対策連携会議

と き 平成31年2月5日(火) 午 後 2 時 ~ 4 時 ところ 上越市役所 402・403会議室

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 題
  - (1) 上越市の自殺の現状(資料1)

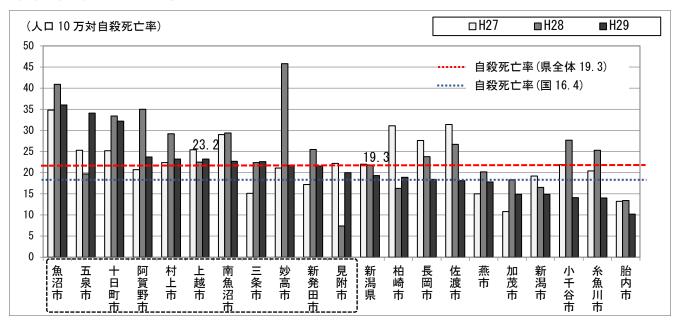
(2) 平成30年度の自殺予防対策の取組と課題(資料2)

(3) 自殺未遂者支援地域連携体制の取組状況について(資料3、4)

4 閉 会

# 上越市の自殺の現状

(1) 新潟県内20市の自殺死亡率



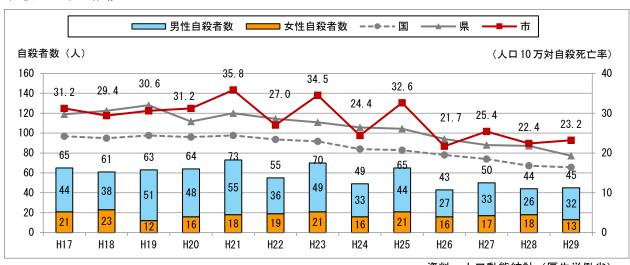
資料:人口動態統計の概要 (新潟県)

- ○上越市の平成29年の自殺死亡率は、県内で6番目に高い状況であり、経年で見ても県および国全体よりも高い現状にある。新潟県全体としては減少傾向。
- (2) 自殺死亡の動向(H30年1月~11月の自殺死亡の状況)

期間	自殺死亡者数							
州间	男性	女性	全体					
H29年1月~11月	26 人	12 人	38 人					
H30年1月~11月	20 人	10 人	30 人					

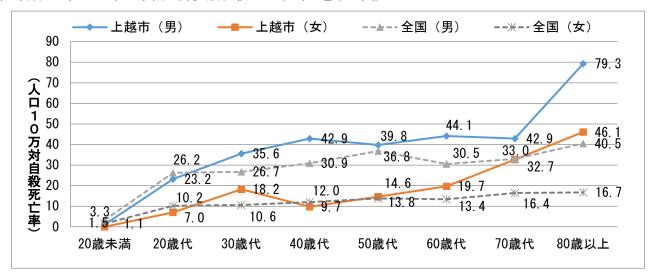
- 資料:地域における自殺の基礎資料(厚生労働省)
- ○H29 年の自殺死亡者数 は、45人
- ○前年の同時期と比較して、自殺死亡者数は減少傾向。

#### (3) 自殺死亡率の推移



資料:人口動態統計(厚生労働省)

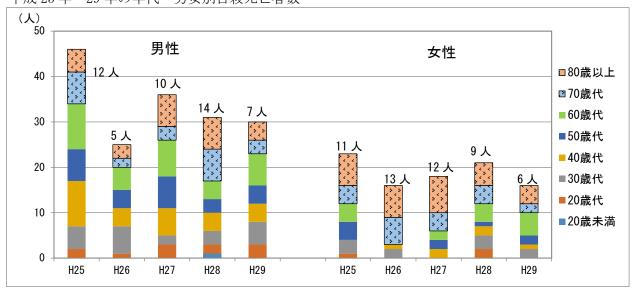
(4) 平成25年~29年の年代・男女別自殺死亡率(上越市・国)



資料:地域自殺実態プロファイル(自殺総合対策推進センター)

○平成25年~29年の5年間における自殺死亡の状況を見ると、全国と比較して上越市は、男女ともに自殺死亡率が高い状況にある。特に、男性は40歳代・60歳代が高い状況となっており、70歳代・80歳以上は、男女ともに全国を大きく上回っている。

#### (5) 平成25年~29年の年代・男女別自殺死亡者数



資料:地域自殺実態プロファイル(自殺総合対策推進センター)

○男女とも 70 歳代および 80 歳以上の自殺者数は減少傾向となっている。(※上記図中の人数は、70 歳代と 80 歳以上の自殺死亡者数の合計。)

#### ■上越市の自殺の現状(まとめ)

- (1) 自殺死亡者数は H25 年以降、減少傾向にある。
- (2) 男性の自殺死亡者数は女性より多い傾向にある。
- (3) 30~40歳代の自殺死亡者数は横ばいとなっている。
- (4) 近年では、高齢期の自殺死亡者数は減少傾向にあるが、60歳代は増加傾向にある。

# 平成30年度の自殺予防対策の取組と来年度に向けた課題

①自殺ハイリス ク者の状況に 応じた効果的 な対策を推進 する

計画における基本方針

#### 方向性

メンタルヘルスの専門的な治療を必 要とする状態等について周知する。

医療機関・警察・保健所等の相談機関 の連携を強化し、自殺未遂者支援につ なげるよう体制を整備する。

遺族との関わりのある関係者から相 談先を遺族に伝え、市や県が連携して 相談対応を実施していく。

②地域で生きる ことへの包括 的な支援を推

地域で自殺予防に取組む必要性につ いて市民に周知をしていく。

進する

自殺予防に関わる支援者を対象とし た研修、自殺未遂や企図の事例検討を 行うことで、支援者への支援に取組

関係機関の連携を図り、相談を受けた 機関から適切な相談機関につなげる よう体制を整備する。

③ライフステー ジ別の課題に 応じた効果的 な対策を推進 する

産後うつ病などリスクの高い**妊産婦** を把握し、関係機関と連携して早期に 支援を行う。

関係機関と連携し、生きづらさを抱える 若年者が適切に相談につながるよう支 援を行う。

職域においてうつ病などこころの病 気に関する知識の普及と、健康課題を はじめ、仕事また経済的な問題などに 対応した相談機関を周知する。

高齢期の自殺リスクについて理解を 深めるとともに、身体の衰えを受容し すこやかに生活を送るための支援を 行う。

平成 30 年度 自殺予防対策事業~主要事業の抜粋~ (\*自殺予防の視点を含めた「地域福祉計画の策定」)

自殺未遂者の再企図防止に向けた支援・・・(資料3) (元実)〇自殺未遂者(本人及びその家族)への相談支援

> ⇒医療機関・いのちとこころの支援センター・上越市・上越保健所、そ の他の専門機関との連携による、地域での継続した支援

#### 自死遺族への支援

〇自死遺族支援

⇒適切な相談機関の紹介、自死遺族の会への支援等

#### 地域への自殺予防の周知活動

〇平成 26 年から開始した「体制づくり活動」の全 30 地区 での実施が完了予定 →体制づくりの整備へ

(新規)のこころの健康づくり講演会

⇒こころの病を防ぎ、自殺予防を目指した個人・地域の取組について周知 (充実)〇「自殺予防街頭キャンペーン」

#### 自殺予防研修会(一般市民向け)

〇地域住民への自殺予防講座

⇒地域で取り組む自殺予防および、住民自身の取組に関する講座を実施

#### 支援者支援

〇相談対応者向け自殺予防研修会

1) ケアマネジャー、地域包括支援センター職員等を対象

→ \* H31 年 2 月 20 日 実施予定

(新規)2) 高齢者施設等(入所施設) 職員を対象

→ \* H31 年 2 月 27 日 実施予定

#### 妊産婦

#### (新規)〇「エジンバラ産後うつ病質問票」の実施

⇒産婦訪問時に実施し、産後うつ病の発症リスクが高い場合には適切な 支援を実施

#### 高齢期

〇高齢者向け自殺予防健康講座

#### 課題

#### 〇未遂者支援の結果

- 精神科受診、退院後の在宅生活にむけた支援などを実施。
- ・継続した支援につながり、その後の自殺企図はない。

#### 〇未遂者支援における課題

- 病院から「関わりがある相談機関」に直接情報が入る場合もあり、 相談機関での対応に不安をもつ可能性もある。
- →連携会議、各研修会等を活用して、関係機関への支援を 実施していく。

#### ○体制づくり活動を30地区で実施した結果

- •「自殺が多いことは知らなかった」といった住民の認識
- ・「地域での見守りを行いたい」「うつ病や認知症の予防について 知りたい」という要望

#### ○体制づくり活動の課題

- ・自殺予防に関する正しい情報を、地区の状況に合わせて周知し考 えてもらう取組を継続していくことが課題。
- →H31~35年の5年間で、地区別の実態に合わせた自殺予防対策を 継続実施していく。

#### 〇こころの健康づくり講演会 【参加者:157人】

- ・10月16日(火)ワークパル上越
- ・働き盛り世代における健康課題について、多くの人に考えてもら う機会を設けることができた。
- →企業向けのメンタルヘルス講座において、市の自殺対策や相談機 関についての周知を行う。

#### 〇エジンバラ産後うつ病質問票の実施結果

- ・産後うつ病 高リスク産婦 77人(8.6%)
- 再訪問を実施し、継続してリスクが高い人 8人(11.6%) (※H30 年 12 月末現在、産婦訪問の全件数=892 件)

#### 〇高齢者向け自殺予防健康講座の実施結果

- ・健康講座の依頼があった町内、サロン会場にて「高齢者のうつ病 および自殺予防について」情報提供を実施
- →さらに周知の機会を拡大するため「すこやかに老いるための講 座」の内容に含み、市内28か所で実施する予定

## 自殺未遂者支援地域連携体制の取組状況について

### (1)『自殺未遂者の再企図防止に向けた支援』とは

- ◎自殺未遂者(本人及びその家族)を対象とした、相談支援を実施
  - ⇒医療機関からの情報を「上越地域いのちとこころの支援センター」で集約し、上越市(こころの健康サポートセンター)および上越保健所、その他専門相談機関との調整を行い、 地域での継続した支援につなげることで自殺の再企図を防ぐ。
  - ⇒平成 30 年度中に、上越市・上越地域いのちとこころの支援センター・上越保健所・医療機関の連携よる、自殺未遂者支援地域連携体制の構築を目指す。

## (2) 平成30年度 自殺未遂及び自殺企図者の背景

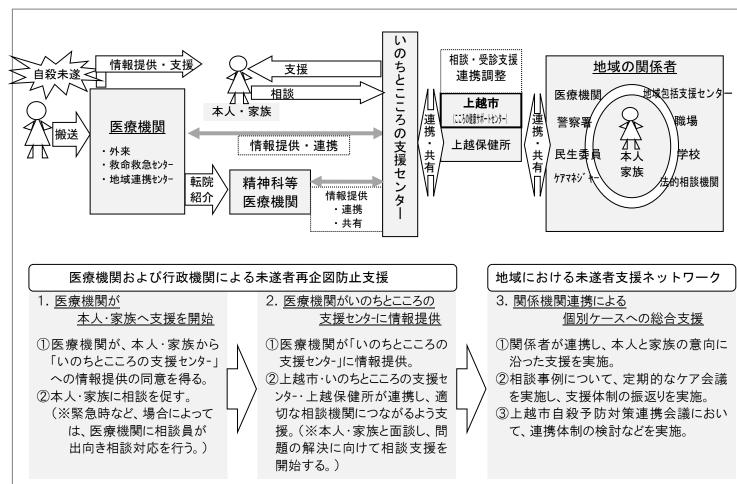
- ①自殺未遂者・・・7人 [ ※過去の未遂歴は無し ]
- ②自殺企図もしくは希死念慮を持つ人・・・7人 計14人

				_				
性	別	男性7人	女性_7人					
年	代	10代 2人	20代 2人	30代 2人	40代 2人	50代 1人	60代 4人	80代 1人
把 握 経	路	医療機関 8件	上越市 2 件	保健所 1 件	その他 3 件			
精 神疾患有	科無	あり 8 件	なし 3件	不明 3 件		が最も多かった ロール関連障害、		ټ <b>ど</b> )
身 体 疾有	患無	あり 3 件	なし 8件	不明 3 件				

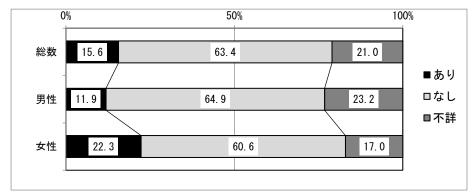
#### ③背景

<u> </u>	
疾患	<ul><li>・精神疾患罹患者が約半数。</li><li>・継続して治療を受けているが、退職や離婚等のライフイベントがきっかけとなって、病状が悪化している。</li><li>・介護が必要となり支援機関が入るが、本人の精神的な落ち込みが強く、医療機関受診を勧めるが治療拒否のため受診支援が困難だった。(60代)</li></ul>
経済状況	・転職を繰り返す、定職についていない等が背景にあり、収入がなく市税の滞納があり、医療費の支払いにも困るような状況。(40~60 代男性) ・上記のように、借金、税金滞納、離職、離婚など複数の問題を抱えているために、どこにどのように相談したらよいか分からない、また相談する力もないといった状況。(※市窓口で本人の状況から、保健師に繋がったケースもあり。)
家 庭 環 境	・家族と同居しているが、家族との不和、コミュニケーション不足などから、本人の辛さなどを家族が知らない事例がある。(60~80代女性) ・ステップファミリー、家族がすでに死亡している等で、家族からの支援を受けにくい状況にある。(10~20代) ・精神科医療機関からの退院後から、在宅支援において見守り支援ができる家族がいない。もしくは、家族がいても本人への支援に家族が疲弊しており、支援できる力がないケースもある。(10~30代) ・他県からのUターン者だが、近隣に親戚などもおらず地域で孤立していた。(60代)
その他	・若年者では学校生活において、不登校等の問題を抱えていたケースもあり、発達障害など が疑われる事例もある。(10~20代)

## (3) 自殺未遂者支援の連携体制



## (4) 平成 25 年~29 年の自殺死亡における未遂歴



資料:地域自殺実態プロファイル(自殺総合対策推進センター)

- 〇未遂歴があった人は、全体の 15.6%となっており、未遂者 への支援を実施することで、 自殺予防につながる。
- ○63.4%には、未遂歴がないことから、希死念慮に関する言動が無かったとしても、相談対応の際には自殺につながるリスクを捉えながら支援を行う必要性があると言われている。

# 保健福祉相談等における関係機関の役割一覧

(1) 関係機関における役割一覧

	(1) 関係機関に	<u> – 03                                  </u>	110	<u> </u>	<u>="</u>	見													
		救急対応	警察安全相談	こころの不調など治療に関すること	地域で孤立しがちな人に関すること	自殺予防に関すること	障害がある方の生活に関すること	障害福祉に関すること	子どもの発達、子育てに関すること	DV、離婚など女性相談に関すること	高齢者の生活や介護に関すること	認知症に関すること	金銭など経済的な問題に関すること	就労、仕事上の問題に関すること	心と身体の不調等に関すること	法律問題	小・中学校生活上の悩みに関すること	義務教育終了後の悩み(就労・進学等)	ひきこもり、就労などの悩み
上	越地域消防事務組合 	•																	
上	越警察署		•																
	神科等医療機関			•		•													
()	※別紙、一覧表参照) 健康づくり推進課 (こころの健康サポートセンター)			•	•	•			•					•	•				•
上越	高齢者支援課				•						•	•			•	•			
上越市役所	すこやかなくらし			•	•				•			•	•		•	•	•	•	•
PJT	包括支援センター 福祉課				•		•	•					•	•	•	•			
上	 越基幹相談支援センター				•		•	•						•					
地	 域包括支援センター				•						•	•			•	•			
	潟県地域振興局健康福祉環 部 地域保健課(上越保健所)			•		•									•				
上	越地域いのちとこころの 援センター			•		•									•				
認	知症疾患医療センター 高田西城病院内)			•								•			•				
市	民相談センター 費生活センター												•	•		•			
	法書士会												•	•		•			
	越パーソナル・サポート ンター												•	•					•
上	越労働相談所													•					
/\	ローワーク上越													•					
上	越産業保健センター														•				
上	越地域若者 サポートステーション													•				•	•
青	少年健全育成センター																	•	•
学	校教育課(教育相談所)								•								•		
上i	越児童・障害者相談センター								•										
女	生相談									•									

# (2) 主な相談内容ごとの関係機関一覧

相談内容	機関名	連絡先
自殺企図者の救急対応	上越地域消防事務組合 (消防本部消防防災課)	025-525-1196
近隣、家族などの暴力的な言動、DVなどの相談	上越警察署	025-521-0110
<ul><li>・診察、診断各機関からの急ぎの受診、 入院相談など</li><li>・自傷行為、希死念慮、自殺企図などの 症状に対しての緊急対応</li><li>・受診後の継続的な支援</li><li>・状況に応じて、相談支援事業所などへ 紹介</li></ul>	精神科等医療機関	※別紙一覧表参照
・一般的な健康相談 ・病気、健康などについての不安、疑問に ついての相談 ・希死念慮がある方の相談、または家族や 知人からの相談 ・自殺予防の総合対策および啓発	上越市健康づくり推進課 (こころの健康サポートセンター)	
・高齢者の生活全般に関する困りごとの相談 ・高齢者の生きがいづくりに関する相談 ・介護保険に関する相談	高齢者支援課	025-526-5111 (代表)
・複合的な相談及び家庭環境等に複雑な 問題を抱えるケースへの支援に関する 相談 ・児童虐待に関する相談	すこやかなくらし包括 支援センター	
<ul><li>・障害者の生活や福祉サービスに関する相談</li><li>・障害手帳に関する相談</li><li>・生活困窮者の相談</li><li>・福祉総合相談</li></ul>	福祉課	
<ul><li>・障害のある方の総合相談、専門相談</li><li>・地域の相談支援体制の強化の取組</li><li>・その他、地域移行、地域定着や権利擁護に関する取組</li></ul>	上越基幹相談支援センター	025-524-7500
<ul><li>・高齢者に関する全般的な相談を受け、保健、医療福祉などの適切なサービスにつなぐ支援</li><li>・高齢者の権利擁護に関する相談(高齢者虐待、消費者被害を防止するための取組)</li></ul>	地域包括支援センター	※別紙一覧表参照
・病気、障害に関する不安・疑問などの 相談 ・心身の不調や医療機関受診に関する相談 ・通報および休日夜間の緊急対応	新潟県上越地域振興局 健康福祉環境部 地域保健課(上越保健所)	025-524-6132 (地域保健課)

相談内容	機関名	連絡先
希死念慮がある、自殺未遂または既遂が あった本人や家族の相談対応	上越地域 いのちとこころの支援センター	025-524-7700 (直通)
認知症の鑑別診断、急性期治療、医療 相談	認知症疾患医療センター (高田西城病院内)	090-7801-7533 (直通)
・日常生活でのトラブルや困りごとなど の法的な相談 ・消費生活に係る相談	市民相談センター・ 消費生活センター	025-526-5111 (代表)
様々な法的トラブルに対する総合案内 所	司法書士会(法テラス新潟)	050-3383-5420
仕事がみつからない、借金が返せない、 お金がなくて病院に行くことができない などの生活の困りごとの相談	上越パーソナル・サポート・センター	025-520-8116
労働に関する相談(労働者、事業主を問わず対応。どこに相談したらよいか分からない時など。)	上越労働相談所 (上越地域振興局 労政課内)	025-526-6110 (直通)
求職者を対象とした相談	ハローワーク上越	025-523-6121
15~39 歳を対象とした、就労、就学など に関する相談	上越地域若者サポート ステーション	025-524-3185
義務教育終了後の若者及び保護者など の相談(不登校、引きこもりなどの就学・ 就労、生活などの相談)	青少年健全育成センター	025-544-4690
児童、家庭に関する相談	上越児童・障害者相談所センター	025-524-3355
パートナーからの暴力、夫婦間の問題に 関する相談	女性相談 (上越市男女共同参画推進センター)	025-527-3614

自殺に至る要因は、最低3つ・平均4つの要因が複雑に絡み、地域や社会的要因が背景にあるとも言われています。心理的に追い詰められ、自殺に至る方を一人でも多く減らしていくため、

①<u>相談対象者に対する相談機関の紹介</u> ②<u>相談対応者が各連携機関とつながりをもつ</u> ことを目的として、この一覧表を作成しました。ぜひ、上越市自殺予防対策連携会議 委員の皆様から、 関係機関の連携にご活用くださいますようお願いいたします。

問合せ先:上越市健康づくり推進課 健診・相談係 025-526-5111 (内線 1179・1182)